

北米地域との青少年交流(KAKEHASHI Project - the Bridge for Tomorrow-)

カナダ国訪日団第3陣(センテニアル高校グループ)

訪問日程 平成25年9月18日(水)～9月28日(土)

1 プログラム概要

本プログラム第3陣では、カナダ国オンタリオ州ゲルフ市のセンテニアル高校(Centennial Collegiate Vocational Institute)の一行25人が、9月19日(木)(日本到着)～9月28日(土)(日本出発)の旅程で来日した。

我が国に対する潜在的な関心の増加、クールジャパンを含めた我が国の強みや魅力などのブランド、日本的な「価値」への国際理解増進、未来を担う青少年同士の相互理解を図ることを趣旨として、東京および近郊においては、都市交通やサイエンス教育も力を入れているという同校にあわせ、鉄道博物館、旭化成川崎工場、などの企業・企業関連施設見学を実施すると同時に、茨城県における地方プログラムでは、サイエンススクエア・つくばを訪問し、様々な分野で活躍するロボットについて学ぶと同時に、農業への最先端技術の利用法、そしてその実践の場としての巨峰狩りなどを楽しんだ。

栃木県では伝統工芸家から竹皮を使った草履作りを習い、全員が一足を完成させることが出来た。日本の世界遺産のひとつである日光東照宮を見学した際には日本の歴史を学ぶと同時に、日本旅館にも宿泊し、畳の大部屋と大型浴場の温泉も体験した。

茨城県庁と水戸市役所を訪れ、柴原宏一茨城県教育次長と高橋靖水戸市長への表敬訪問を行った際には、東日本大震災による被災状況に関する話を伺う機会を得た。

パートナー校となった水戸市の茨城県立緑岡高等学校では、生徒会が企画した内容に基づき1・2年生全員の歓迎を受けた後、同校勤務のカナダ人英語指導助手が行う英語の授業に参加する機会を得た。また、書道クラスに参加し、「愛」「夢」といった難しい漢字にも挑戦し、初心者とは思えぬ器用な筆遣いに関係者を驚かせた。午後は、スーパーサイエンスハイスクールである同校の、物理、化学、生物といった各クラスに分かれて参加し、日本人学生と実験を行いながら(例えばA4用紙を、同じ高さから落として遅く着地させるためにはどのような工夫が必要か)結論を導き出す授業に参加した。ホームルームで掃除を行った後、弓道、水泳、サッカー、ブラスバンド等、同校で盛んなクラブ活動で、それぞれが関心のある部活動に自由参加し、一般学生との交流も楽しんだ。今回は3泊4日という通常よりも1泊長いホームステイとなったが、日本人家族の一員として、特別な、かつ、忘れられない日々を過ごした。

千葉県では食文化に触れてもらうため、地引網を体験し、獲った魚をその場で食す機会を得た。魚のバーベキューはほぼ全員にとって初体験であると同時に、晴天に恵まれたため海から富士山を一望する機会にも恵まれ、伝統的な漁と食事、景色を楽しんだ。

2 日程

9/19 (木)	16:30	成田空港着
9/20 (金)	午前	オリエンテーション、空手の講義・演武 (ホテルプリンセスガーデン、品川区)
	午後	山手線・新幹線等に乗車、鉄道博物館見学 (さいたま市大宮区)
9/21 (土)	午前	茨城へ移動、つくばサイエンス・ツアー (サイエンス・スクエアつくば、食と農の科学館)
	午後	チヨダ園芸にてブドウ狩り (かすみがうら市)、交流のタベ・ホストファミリー対面式 (水戸市国際交流センター)
9/22 (日)	終日	ホームステイ
9/23 (月・祝)	終日	ホームステイ
9/24 (火)	終日	茨城県立緑岡高等学校にて学校交流
	夕刻	同校にて送別会
9/25 (水)	午前	水戸市長・茨城県教育次長表敬訪問、日光へ移動
	午後	竹皮草履作り体験 (日光市)
9/26 (木)	午前	日光東照宮 (境内・宝物殿)
	午後	川崎へ移動、旭化成ケミカルズ株式会社川崎事業所見学、成田へ移動
9/27 (金)	午前	地引網体験 (千葉県木更津市)
	午後	千葉県立房総のむら 体験博物館 (茶道・工芸品製作) (千葉県印旛郡)
9/28 (土)	午前	日本滞在中の経験についてのディスカッション
	18:10	成田発

3 写真

	
<p>9月20日 日本空手協会による講義と演武</p>	<p>9月21日 チヨダ園芸 ぶどう狩り</p>
<p>Lecture on karate (September 20)</p>	<p>Grape picking at Chiyoda orchard (September 21)</p>
	
<p>9月24日 茨城県立緑岡高等学校との学校交流</p>	<p>9月26日 日光東照宮見学</p>
<p>Exchange Program at Ibaraki prefectural Midorioka senior high school (September 24)</p>	<p>Visit to Toshogu in Nikko (September 26)</p>
	
<p>9月26日 旭化成ケミカルズ株式会社（川崎市）見学</p>	<p>9月27日 地引網体験</p>
<p>Visit to Asahi Kasei Chemicals Corporation</p>	<p>Seine Fishing on the seashore (September 27)</p>

4 参加者の感想

小さい時からいつも、いつか日本に行きたいと願っていました。日本はユニークな文化があると聞き、もっと知りたいと思っていました。私は Kakehashi プログラムで、素晴らしい時間を過ごすことができ、自分の人生を変えるような経験となりました。「日本へ行く」という夢もかないました。このプログラムで、日本の文化、歴史、現代社会の多様な面を見ることができました。ホームステイや様々なプログラムを通して日本への深い理解が得られました。スケジュールもしっかり準備されていて、そのおかげで10日間を有意義に過ごすことができました。一番面白かったのはホームステイです。ホストファミリーは私を温かく迎え入れてくれて、旅行者としてではなく、日本社会を生きるひとりとして過ごすことができました。

日本政府やこのプログラムを準備し、同行してくれた方々にお礼を言いたいです。本当にありがとうございました。

[女性 16歳]

日本で過ごした時間は本当に驚きに満ちた経験でした。奥深い文化、歴史、おいしい食べ物そして心温かな人々に感動しました。私の父はいつも「社会はの中で生きる人々によって決定されるのだ」と言っていますが、日本では勤勉で、優しい人々がいることに感銘を受けました。日本人の学生は良く勉強をし、大人は良く働きます。私も彼らのようにがんばりたいと思いましたが、彼らがなぜあれほどまでに勤勉で、それらへ責務を果たせるのか、私には想像するのが難しかったのも事実です。正直私だったらおかしくなってしまいそうです。

日本の最新技術や科学も学びたいです。ハイテクの技術には感動しました。大人になったらロボット関係のエンジニアになりたいです。農業の博物館も興味深かったです。そこで農作物の遺伝子や幹細胞について学びました。

日本での生活もとても楽しかったです。ホームステイの経験はみんなに話したいです。カナダとは違う、ショッピングモールや家々、レストランのことを友達に話したいです。

日本滞在中の間、空手のデモンストレーションから日光やサイエンスツアーまで充実した時間を過ごすことができました。富士山を見て、地引網を行い、カラオケに行き、自分がやってみたいことすべてをやることができました。

日本訪問の機会を与えていただき、本当にありがとうございました。

[男性 17歳]

私の日本のお気に入りのパートは、ホームステイです。私は、典型的な日本の女子高生と日常を体験しました。日本の人々は、素晴らしくとてもフレンドリーで礼儀正しいです。私は、学校で行った全ての活動が大好きでした、ユニークなクラブ活動が特に。ほんの少し、私は弓道、剣道、卓球を体験しました。その学校の生徒たちは、誰もが歓迎してくれ、とても親切であることに私は驚きました。私は、色々な実験をしたサイエンスコースの化

学が大好きでした。

私は、ブドウ狩りが大好きでした。日本では特別の珍しい果物に直に触れるのです。竹の靴作りは、楽しく充実していて、そのどの瞬間も大好きでした。千葉での体験博物館での茶道体験もまた楽しみました。フィッシングはとても珍しく楽しかったです。地引網漁がどんなものであるかが分かりましたし、私たちが漁をしたビーチは驚きでした。貝拾いをしながら海辺を散歩していましたら、遠くに富士山が見えたのです。本当に素晴らしい体験でした。

私は日本文化に感銘を受けました。食べ物、伝統、モラルそして示される尊敬のレベルが大好きです。日本が私の一部であるように感じていますし、数ヶ月ここにいるような感じがするほど、10 日間で沢山の事を見て、経験しました。私は日本の何もかもが大好きで、この旅に参加できたことがとても嬉しく感謝しています。架け橋プロジェクト、私たちを繋ぐ橋であることにありがとう！

[女性 16 歳]